

これからの面接は「電話&短時間」で

プラスアルファ 齋藤裕樹

当社が運営しているパチンコ転職ナビサイトに登録し転職された方のデータを様々な角度から見ると、面白い結果が見えてきました。

登録時の住所から県外へ転職された方の割合の過去3年間の推移です。2012年は24%、2013年は36%、2014年は41%。この数字から明らかなように、県外などへ引越を伴う転職の割合が年々増えているのです。言い換えれば、エリア外に住んでいる人を採用するケースが増えているのです。今後の採用は、自社エリア内だけではなく全国から人を募集しなければ、人材獲得が難しいと言えます。

現在、WEB媒体で全国の人をターゲットに募集を行っている企業がほとんどかと思えます。実は、この時点で企業側と求職者側にギャップが起きています。全国に募集をしているのだから沢山応募が来るであろうと思う企業。どのようなホールを経営している会社かわからないし、行くまでの時間と距離と費用に抵抗があり、応募することに躊躇する求職者。この両者の目線がズレている限り、機会損失が起きているのです。

では機会損失を最小限にするにはど

人こそ資源! 採用と定着の工夫



うすれば良いのか。それは必ずしも手軽に面接を行えるようにすることです。1回の面接に注力するのではなく、短くてもいいので面接回数を増やすことが重要です。スマホの普及でビデオ通話が手軽になりましたので、これを活用することで求職者が応募しやすくなります。既にいくつかの企業では電話面接や、Skypeのビデオ通話機能を利用した遠隔地面接を実施し、多くの求職者の方との接点作りに成功しています。

とはいえ、ITに慣れていない企業からは、「難しい、やり方がわからない」といった相談を受けます。ビデオ通話を簡単にやりたいなら、iPhoneのFaceTimeやLINEアプリのビデオ通話機能がお勧めです。特にLINEの場合は、携帯番号を交換せず(知らせず)に、LINEのIDでビデオ通話ができますので、心理的にも応募しやすくなります。

電話面接でのポイントは2つ。1つは求職者側の時間の都合に合わせて行うことです。従って、「5分」「10分」それ以上」の3パターンでヒアリング項目を準備しておくことが大切です。2つめは、求職者の声の抑揚をチェックす

ることです。声で喜怒哀楽が伝わってくるかどうかです。声で感情を表現できなければ、その時点で採用は難しいと判断します。

まとめですが、これからの採用は間口を広げ、多くの求職者の方と接触回数を増やすことが重要です。そのためには、アルバイトを含めた求職者側の目線に立って、抵抗なく応募できる環境を企業側が用意する必要があります。それを実現する手段のひとつが、電話(ビデオ電話)での面接です。遠方で仕事をしていて、面接のための時間をなかなか作れない求職者や、PCを持っていない求職者でも面接が可能となります。面接した人の中で、良い方だと判断した場合は、2次面接や最終面接へ進んで頂き、場合によっては面接のための交通費を支払うなどして、優秀な方を囲い込む。これが今後の採用のスタンダードになるでしょう。



さいとう ゆうき 株式会社プラスアルファ
人材紹介事業部 民協協認定 職業紹介士
営業コンサルタントとして営業支援のほか、人事評価制度・社内不正防止策定など、幅広い支援を行い、組織の円滑化に取り組んでいる。
パチンコ転職サイト「パチンコ転職ナビ」運営の総責任者も務める。http://www.hpa.co.jp/

【A】